

## 令和元年度富山県手話施策推進協議会の主な意見

日時：令和元年8月28日（水）午前10時～午前11時30分

場所：サンシップとやま 704 研修室

- 議題：（1）第4次富山県障害者計画について  
（2）本県における手話関連施策について  
（3）その他

### 委員からの主な意見

#### ○第4次富山県障害者計画について

- ・この計画についてどのように県民に周知していくか、またどのように施策を実施していくかが重要である。
- ・この計画の若年層への周知について、漫画やアニメ、または動画による発信が効果的ではないか。
- ・数値目標の進捗状況について、絶対数の表記に加え達成率を併せて表記してはどうか。

#### ○本県における手話関連施策について

- ・より多くの県職員に手話を経験してもらいたい。福祉関係の部局に限らず、全ての部局の職員から参加者を募る形での実施について検討していただきたい。
- ・手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）及び全国手話通訳者統一試験（手話通訳者試験）について、昨年度から受験料の助成が始まったが、全国要約筆記者統一試験（要約筆記者試験）については受験料の助成制度がないため、助成できるようご検討いただきたい。
- ・遠隔手話通訳サービスについて、タブレット端末を公的病院に設置しているということだが、聴覚障害者が通院する際は、通常手話通訳者を同行することが多いことから、聴覚障害者への意思疎通支援という点でどれだけ効果があるか疑問を感じる。タブレット端末を市役所（町村役場）や新幹線が停車する駅

に設置してはどうか。

- 遠隔手話通訳サービスや電話リレーサービスの実施で手話通訳者の通訳回数が増加することに伴い、手話通訳者の健康問題について今後も調査・研修を続けていただきたい。
- 障害福祉サービスに関わる相談支援員等への研修カリキュラムに聴覚障害者への理解促進に関する内容を含めていただきたい。
- 学校における手話の学習の機会を設けていただきたい。